

氏名	寺 田 整 司
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第3631号
学位授与の日付	平成13年9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	Tau-negative astrocytic star-like inclusions and coiled bodies in dementia with Lewy bodies (Lewy小体型痴呆における, タウ陰性のアストロサイト星状封入 体とコイル小体について)
論文審査委員	教授 小川 紀雄 教授 阿部 康二 教授 竹居 孝二

学位論文内容の要旨

Lewy小体型痴呆におけるグリア病変を検討するために, Lewy小体型痴呆を有する4例の剖検脳について評価を行った. 従来, Lewy小体型痴呆の脳においてアストロサイト内封入体を認めた報告はなかったが, 4例中2例の脳皮質, 特に側頭葉において, 多数の嗜銀性アストロサイト星状封入体をはじめで見出した. アストロサイト星状封入体は形態的には進行性核上性麻痺で見られるアストロサイト内糸くず状封入体によく似ていたが, 免疫組織化学的には抗タウ, 抗 α -シヌクレイン, 抗ユビキチン抗体に陰性であった. さらに4例すべての中脳と1例の脳皮質においてタウ陰性のコイル小体を認め, これらは抗 α -シヌクレイン及び抗ユビキチン抗体に陽性であった. これらの結果からLewy小体型痴呆においては, 神経細胞だけでなくグリア細胞の障害も病態に深く関与している可能性が示唆された.

論文審査結果の要旨

本研究は, Lewy小体型痴呆の病態におけるグリア病変について免疫組織化学的に検討したものである. その結果, 脳皮質においてアストロサイト内星状封入体が多数存在することを見出し, さらに, 中脳に抗タウ抗体に陰性のコイル小体を発見した. これらのグリア病変はこれまで知られていなかった新しい知見であり, 価値ある研究成果である.

よって, 本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める.